

5 お客様・沿線の皆様とともに

2009年安全報告書 阪急電鉄株式会社

5-1 警察及び消防局との合同訓練

1 消防との連携

1 合同訓練

- ・北摂地域消防本部との合同訓練

日時・場所

2008年6月16日(水)午前10時～ 宝塚線 平井車庫

参加団体

豊中市・高槻市・箕面市・吹田市・池田市・茨木市・摂津市・川西市・
島本町・豊能町・猪名川町 の各消防本部

訓練内容

沿線の消防本部や消防局に対して、救助活動中の安全対策や車両の知識について講義を行った後、合同で事故復旧訓練を実施しました。



2 研修及び講習

- ・兵庫県立広域防災センター内 兵庫県消防学校

日時・場所

2008年11月6日(木)午前10時～ 兵庫県立広域防災センター

参加団体

兵庫県消防学校

訓練内容

兵庫県立三木震災公園内に設立された兵庫県立広域防災センター内において、当社が寄贈した車両を使用して、列車事故に対応するための車両の基礎教育や車両機器の取扱等の実技指導を毎年、実施しています。



- ・京都市消防学校

日時・場所

2009年3月2日(月)午前10時～ 京都線 桂車庫

参加団体

京都市消防学校

訓練内容

救助活動中の安全対策や車両の知識について講義を行った後、合同で事故復旧訓練を実施しました。



5-2 各種取り組み

1 サービス介助士の配置

「サービス介助士」とは、NPO法人「日本ケアフィットサービス協会」が認定する資格で、高齢者や障害者のお客様を迎えるために必要な介助の知識と技能を認定する新しい検定資格制度です。バリアフリー設備等、ハード面の充実にも取り組んでいますが、高齢化社会への対応が求められる現在、人と人、心と心のつながりがとりわけ重要です。お年寄りやお身体の不自由な方々に対する「おもてなしの心」で気持ちよくご利用いただけるよう、112名の駅係員や乗務員が資格を取得しています。ご利用の際には、駅係員や乗務員にお気軽にお声掛け下さい。



2 AED（自動体外式除細動器）の設置

AEDとは、「心室細動」によって心臓から血液が送り出せなくなる状態が発生した時に、正常な状態に戻すために電気ショックを与える医療機器です。

当社では、鉄道をご利用いただくお客様をはじめ、多くの方々がお集まりになられる主要駅(16駅)に設置しています。また、AEDの取り扱い講習を受講した係員を配置し、使用する体制も整えています。

また、乗務員等を育成する教習所には、消防本部で講習を受け認定を得た応急手当普及員が従業員に対して普通救命講習を実施し、AEDの使用方法や心肺蘇生の技能の普及に取り組んでいます。



3 こども110番の駅の取り組み

登下校時を中心として、子どもたちがトラブルに巻き込まれる事件が数多く発生しています。子どもたちを犯罪から守るため「こども110番の駅」の標示を掲げ、より一層安心してご利用いただける駅づくりに取り組んでいます。

